

# あくね

# 市議会だより

1月臨時会、2・3月定例会



## 今号の主な内容

1月臨時会、2・3月定例会	2
討論～多くの賛否活発に～	8
各議員が市政を問う～一般質問～	11



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると市議会のホームページにリンクします。

二次元コード

## めざせチャンピオン

～ボクシングスポーツ少年団～

令和8年5月15日発行 (No.232)

# 1 月臨時会、2・3月定例会

令和8年度  
当初予算

一般会計 新図書館建設、小中学校給食無償化など  
152億3,000万円を可決



風テラス北側に建設する新図書館予想図

## ・特別会計をそれぞれ可決

国民健康保険 29億3,366万円

後期高齢者医療保険 4億9,616万円

交通災害共済 683万円

水道事業会計(収益的支出)

介護保険 32億1,146万円

5億2,346万円

## R7年度一般会計補正予算を可決

・生活応援商品券交付、大川地区公民館トイレ改修などを含む補正予算を可決しました。

148億1,929万円(補正後)

## 条例

・大川地区に整備された「子どもの遊び場」の設置及び管理に関する条例や、「**こども誰でも通園制度**」に関する条例を含む11件の条例を可決しました。

## 陳情

- ・議員報酬増額の即時見直しと、長年続く閉鎖的・自己優先的議会運営の全面改善を求める陳情(不採択)
- ・阿久根市泉源を活用した温泉設備整備の早期実現に関する陳情(採択)

## 人事

- ・人権擁護委員 高村 和恵氏(新任)
- ・固定資産評価審査委員会の委員 林 健太郎氏(再任)

# 竹原信一議員に対する辞職勧告決議を可決

3月25日の本会議において、竹原信一議員に対する辞職勧告決議の動議が提出され、審査の結果、全会一致で可決しました。

竹原信一議員は、2024年3月29日に廃棄物のマツトレスなど（焼却後重量計120kg）を自宅隣の空き地で燃やした行為で、廃棄物処理法違反（焼却の禁止）の罪により、2025年9月24日、鹿児島地裁川内支部から罰金刑を言い渡された。その後、同議員は無罪を主張し、福岡高裁宮崎支部に控訴していたが、2026年2月5日付けで罰金30万円に処せられ確定した。

しかし、同議員は、刑が確定した現在においてもなお、反省の態度はおろか、市民への謝罪も一切していない。

同議員が犯した罪と、それを率直に認め謝罪しなかったことは、幾度となく、新聞やインターネットなどで報道され、多くの市民はもとより全国に知られることとなった。

同議員のこれらの行為等は、議員は、「市民の負託を受けて議員に選出されたことを自覚し、議員として必要な資質の向上に努めるとともに、誠実かつ公正な職務の遂行に努めなければならない」と規定されている阿久根市議会基本条例第9条や、「市民全体の代表者として、議会の品位と名誉を損なうような一切の行為を慎み、不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと」と規定されている阿久根市議会議員倫理条例第3条第1項第4号に反するものである。

したがって、在職中に刑事罰を受けたことは、市議会の品位と名誉、市民からの信頼を大きく損ねるものである。さらに、反省の態度を示さないふるまいは言語道断であり、公人である市議会議員の職責を担う者として著しく不適切と言わざるを得ない。

よって、本市議会は、同議員に対し、自らの意思と責任において市議会議員の職を辞することを強く求めるものである。以上、決議する。

## 議会運営委員会

○議員報酬増額の見直し、閉鎖的・自己優先的議会運営の全面改善を求める陳情

### 令和7年 陳情第11号



本件は、委員会において、陳情者を参考人として出席を求めると決定し、陳情者の御都合に合わせて調整し、開催することとなりました。

陳情者に対し、設定した日時に参考人として委員会へ出席していただきたいことをお伝えしたところ、御都合が悪いとの御回答であったことから別の日時の御出席について日程調整を申し出ましたが、陳情者からは、参考人としての出席要請には応じないとの御回答でした。

委員会でも再度審査方法を

を協議した結果、陳情書の内容を確認し、委員間で討議を行い、結論を出すこととしました。

#### 討議

議員報酬は、議会で議論し、正式に決めており、認識が違う。議員と語る会は、試行錯誤し、努力しているの指摘は当たらない。

議会運営の透明化、責任については、いろんなレベルがあり、はいそうですとは言えない。

やはり、出席していただき話を聞かなければどういう意味か分からない。

若い方々と話す機会があり、議員になるのはどうかと声をかけたが、若い世代からは、この報酬では暮らしていけないと言われた。委員には、これを頭に入れておいていただきたい。

#### 委員

この陳情は、市議会に対する市民の御意見として真摯に受け止めるものと認識。

陳情事項の1と2については、過去の経緯を確認したが、報酬は委員会で調査を重ねて検討し、適正な手続きを経て決定され、直ちに見直すべき理由はない。

3は、若い人たちが全面公開の中で自由に意見を出せるか不安。

4は、市民に信頼される市議会運営は大切だと感じた。

#### 不採択

#### 討論

陳情事項の1から3は阿久根市議会には当てはまらない。要は、理想の努力目標であり、確かに大事にすべき点であるが、ある程度はなされている。4は、話を伺いたかったが、来られない以上しょうがない。全体で考えると不採択。

採決の結果、賛成する委員はなく、不採択とすべきものと決しました。

# 予算委員会

令和7年度

○一般会計補正予算  
(第7号)

## 一般会計補正 予算(第7号)



所管課への主な質疑  
農政林務課

**収入保険制度加入促進  
事業交付金、144万円の減額について**

**Q** 当初予定していた農家が加入しなかったという事で減額であるが、何か理由があるのか。

**A** これは新規事業であり、個人農家については、予算の関係で、事業周知ができず、個人農家の新規加入はゼロ件で、今回補助対象となったのは法人1件のみであった。この事業は、令和7年4月1日からスタートしたが、実際に事業の対象になるには、前年の12月までに

保険に加入しなければならなかった。来年度は事業をしっかりと周知し、活用していきたい。

商工観光課

**あくね応援寄付金、50万円について**

**Q** 代理寄附について、青森県各地で大きな被害が出たが、むつ市に特定した理由は。

**A** 全国青年市長会で市長と役員等が重なっていた経緯があり、つながりがあったことから、今回、青森県むつ市に対して、災害支援代理寄附の手伝いを行った。

**県道阿久根東郷線管理業務委託料と国道389号管理業務委託料について**

**Q** 県道阿久根東郷線については、初めて権限移譲を受けてということだが、どこからどこまでの地点の管理をするのか。また、389号との違いもあわせて、管理業務の内容は、どのようなものか。

**A** 国道3号からの取付けから横座トンネルの入り口まで、およそ14キロになる。国道389号線と管理内容については同じであり、植栽帯及び樹木管理、それと、それ以外の部分の草払い等になる。



生涯学習課

**新阿久根市立図書館建設用木材製材等事業について**

**Q** この1520万6000円は、昨年第3回定例会のときの予算現額だが、実際の入札額は幾らか。また事業者名は。

**A** 入札額は1520万5238円で、事業者名は、中村木材有限会社である。

採決の結果、賛成多数で、可決すべきものと決しました。

○国保補正(第5号)  
・介護補正(第4号)  
・後期補正(第2号)  
・水道補正(第2号)

## 特別会計等 4補正予算



質疑等、少数でした。

令和8年度  
○一般会計予算

## 一般会計予算 (当初予算)



所管課への主な質疑  
企画推進課

**ゼロカーボンシティ計画策定業務について**

**Q** 企画推進課の質疑の中で、洋上風力に関する取組を中心としたこの補助事業で行っていく、という回答があったが、具体的な説明を。

**A** 市民や事業者へのアンケート調査、ヒアリング等を行い、導入目標取組を設定したい。洋上風力についても、当然、取扱いの範囲に入っている。エネルギー対策策である企画推進課とも連携を図り、計画の策定に当たりたい。

商工観光課

**出水地区広域観光プロジェクトについて**

**Q** 観光商品の開発は、2市1町の行政で新たな商品開発をするのか、あるいはそれぞれの自治体の民間事業者等を合わせた中での新商品開発か。

**A** ファームツアーという、観光地の誘致促進を目的に、旅行者やメディア、インフルエンサーに、施設やサービス等を体験してもらおうツアーを実施している。福岡県の旅行事業者に対し、このツアーを実施し、出水地区2市1町の観光資源等を確認してもらい、旅行事業者が旅行商品等の造成を行う。

教育総務課

**特別教室空調設備について**

**Q** 今回ほどの程度の計画を立てているか。

**A** 大川小学校が理科室・音楽室、西目小学校が理科室、山下小学校が理科室・音楽室、鶴川小学校が理科室・音楽室。阿久根中学校が美術室・技術室・特別支援教室、三笠中学校が美術室・木工室である。



生涯学習課

**新阿久根市立図書館建設事業について**

**Q** 1月の広報あくねで簡単なレイアウトが示された。非常に小さくて、文字も潰れて、中身もよく読み取れなかった。市民には十分に、その内容が伝えられたと思うか。

**A** 1月号で、レイアウトを示し、3月号において、より詳細なイラストを用いたものを掲載しているの、そちらを見れば、より理解が深まるものと認識している。

### 財政課

#### 武道館改修事業について

**Q** この改修事業は、個別計画の中に入っており、それに基づく適正管理推進事業債、これは90%、市の負担が10%程度で済む大変有利なものを国から援助もらえるはずなのに、何故これを使わないのか。

**A** 公共施設等適正管理推進事業債という地方債は、充当率は90%で、交付税措置率は30%から50%である。財政課としては、過疎債が充当率100%で、交付税措置率は70%ということで、こちらの地方債のほうが有利であると考ええる。

#### 総括した質疑(3委員)

地方債の前前年度末現在高から当該年度末現在高見込みに関する調査について

**Q** この予算書のどの項目に、既設施設の廃止や削減におけるコストカットが担保されているか。また、その総額は幾らか。

**A** 一定の要件を満たせば、公共施設等適正管理推進事業債などの地方債を充当することは、制度上可能であると認識している。令和8年度予算においては、当該地方債を市営住宅解体事業の財源として活用し、1020万円を予定している。



地域振興基金繰入金、繰り入れた後の基金の用途について

**Q** 本市の消滅自治体が、解決するような予算組をしているか、所管課に聞いても良い返答がない。阿久根市の人口を増やさねば、という気があるのか。

**A** 予算編成に関しては、各課からの政策提案を踏まえ、市全体の政策として総合的に判断している。基金については、補助金など他の財源とあわせて、人口減少の抑制に向けた施策、地域活性化につながるよう、効果的かつ効率的な事業実施となるよう活用していきたい。

#### 新阿久根市立図書館建設事業について

**Q** 設計は運営の観点から十分な精査は行われたか。

**A** 平成25年に10数回市民ワークショップや建設委員会を開催しており、図書館の指定管理者代表や、実務職員も入って

おり、運営の視点からの意見も十分に伺った上で設計がなされた。

**Q** 今後の人口構造や利用形態の変化を想定して設計したか、将来世代の利用をどのように見込んでいるか。

**A** 中・高校生等のWiFiを使つての調べ物や学習には対応している。小さい子供たちも保護者と来て閲覧できるスペースも設けている。また高校生、大学生等も対応している。



### 討議

**委員** 設計の精査が市民や運営者、あるいは図書館協議会委員の専門的な意見が最終の実施設計にどのように反映されたか

が疑問である。

**委員** 子供たち世代は図書館は必要ない。全く無駄な施設を多額の予算をかけてつくってしまう。子供たちの世代の大きな重荷になると思う。

### 討論

**反対** 廃墟を次世代に残す予算案を認めるわけにはいかない。新規プロジェクトを即時凍結し、足元の安全確保にかじを切るべきである。

**賛成** 図書館事業も、債務負担行為を経て、予算として通そうとしている問題がない。子供たちから、早く図書館ができればいいと、意見も聞いている。市民も望んでいる事業である。この予算を阿久根市議会議員として通すのは務めである。

**反対** 図書館の必要性は重々承知しているが、ここ13年進んでこなかった。ここで急ぎ過ぎてはいない図書館もできない。慎重

重さは停滞ではない。市民の税金と将来世代に対する議会の責任である。

採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

- 国保特別会計
- 交通災害特別会計
- 介護特別会計
- 後期特別会計
- 水道事業会計

#### 特別会計等 5予算(当初)



質疑等、少数でした。

○市立図書館新築工事  
(建築) 請負契約の締結

議案第14号



所管課への主な質疑

Q この契約の中には、予算議決の場合にどうなるか等の停止条件、あるいは付帯条項等は記載されていないのか。

A 予算に関しての内容は仮契約書に記載はない。

討論

反対 予算成立を確認した後、契約締結を行うべきであり、現時点での契約締結には賛成できない。

賛成

債務負担行為として議決をしており、本契約は問題ない。長年の市民の夢であり、多くの市民がこの新図書館に期待し

ている思いを考えれば、契約締結に賛成する。

採決の結果、賛成多数で、可決すべきものと決しました。

○職員等の旅費に関する  
条例の一部改正

議案第19号



Q 簡単に、どこが変わったか説明を。

A 主な変更点は、旅行者への旅費の支給に代えて、旅行代理店を旅行役務提供者と規定し、直接支払いを可能にした。文言の整理として、鉄道賃や船賃、航空賃及び旅行諸雑費の内容を改めた。

宿泊料や食卓料、移転料、着後手当及び扶養親族移転料を廃止した。実費弁償により近い形とした。

討議、討論はなく、採

決の結果、全会一致で可決すべきものと決した。

産業厚生委員会

○阿久根市温泉を活用した温泉設備整備の早期実現に関する陳情

陳情第1号



陳情者を参考人として出席を求めた質疑

Q この先の展開として、何かアイデアがあるか。

A 温泉自体、有償効果があるものだと捉えており、土地の付加価値を高めるとか、様々なアイデアが出てくる。

それ自体を醸成したいから、それを活用できる段階まで持っていきたい。

Q それを商売として温泉に対する影響は考えなかつたか。

A 温泉祭りを始めた経緯も、温泉業者から、ど

うにか若い力で温泉を盛り上げるイベントを考えられないかということ、まずは阿久根自体が「温泉のまち」だと発信したい。

温泉の周知・認知が外部に広がれば広がるほど、比例して業者も潤っていくと考える。

Q とにかく、くめるような温泉を作ってくれということか。

A まず、みんなが様々な方向性で活用できるベースを、行政にどうにか担っていただきたい。



所管課への主な質疑

商工観光課

Q 市の温泉は、お湯を取るができる状況にあるか。

A 大丸公園横については、泉源の権利は商工観

光課が所管しているが、通常の維持・管理は現在使用されている個人の方2名で、泉源から給湯、送湯がなされている状況である。

財政課  
Q 以前、グランビューへ供給していた泉源の状況は。

A 平成28年度にくみ上げポンプを撤去しており、すぐに使える状況にはないが、建屋がある状態で、屋外にさらされてはいない。

Q 今後の取扱いはどう考えているか。

A 事業者から活用したいという相談があれば、現状をお伝えし、その状況を踏まえて事業者がどう判断するかというところもあるが、問合せ等あれば真摯に対応していく。

採択 意見段階で陳情者が言われるのは、蛇口程度でいいということ、現在、温泉で使われている方々に話は伝わっているということ、影響がないものと考え、採択でよい。

採択 現実的には、費用管理、年に1回しか使わないという課題もあるが、執行部に検討してもらうという意味で、採択でよい。

採択 説明を聞く中で、今、事業を行っている方の意見も聞き、その賛同も得て、こういう陳情を出されたということも伺った。この陳情を、市が前向きに受け止めることによつて、一つの起爆剤となることを期待し、賛成。

採決の結果、全会一致で、採択すべきものと決しました。



**過疎計画と過疎債とは**

「過疎地域持続的発展計画」は、法に基づき策定され、過疎債を活用して地域の持続的発展を目指す計画です。

過疎債は、県の同意を得た範囲内で、各事業費の最大100%を借入で賄うことができ、返済額の約70%が地方交付税として国から措置されるため、自治体の実質負担が軽くなります。計画は「資金調達の設計図」の役割も担い、地域の負担を抑えながら、事業を着実に進める指針となります。

過疎債は、市が事業のために借り入れる市債(借金)の一種です。



**持続的発展へ過疎債利用**

**Q** 将来展望実現の戦略に、過疎債はあまり使われていなかったのでは。  
**A** 今まではソフト事業に活用ができてない。

**公共施設マネジメント**

**Q** 公共施設等の適正配置と総量の縮減を図ることが必要な理由は。  
**A** 人口減少の段階にあっては、必要な施設は残しつつ、不要となった施設は解体と撤去等をしていくという意味。

**若者が残るために**

**Q** 若者が阿久根に残り、就職できる環境整備が必要とあるが、具体的には。  
**A** 企業誘致や、市外からの就職者への家賃補助、鶴翔高生への企業説明会等の取組を推進している。

**空き家対策事業**

**Q** 類似近隣市と比較し、補助額が少ないのでは。  
**A** 他市町村を見ながら、どれくらいアドバンテージを持つべきか、3年ごとに見直し検討する。

**男女共同参画の課題**

**Q** 女性や多様な人材の活用、男女が安心して子育てできる環境づくりにどのようなことが課題か。  
**A** 男女の役割を意識した固定的職業感などが阻害要因の一つ。リモートお仕事女性塾で、女性が働ける場を新たに創る。

**宿泊施設**

**Q** 体験型観光のための宿泊施設をどう考えるか。  
**A** 旅行ニーズが団体から個人に変わっており、1棟貸しや、少人数宿泊の施設を開設する事業者と連携し、市内の宿泊人数を増やしたい。

**移住・定住対策**

**Q** 移住コーディネーター事業は委託事業か。  
**A** これまでの空き家や移住対策の地域おこし協力隊員を、会計年度任用職員として、直接雇用し、配置する。

**景観条例の制定**

**Q** 景観条例をつくる予定は入れなかったのか。

**A** 検討、制定する予定はない。景観条例で、市民の事業活動等が制限される可能性あり。市民の意見伺い検討するべき。

**討議**

**反対** 人口1万人に向かう本市で、過去の4万人規模の施設を維持することは、財政的自殺行為。拡張路線を捨て、身の丈に合ったまちづくりを。その覚悟が見えない。



折口ニュータウンに設けられたお試し移住体験住宅

# 討論

## 多くの賛否活発に

討論において、賛否のあったものについて掲載しています。

### ○市立図書館工事（建築） 請負契約



動画

#### 【反対】 竹原 信一議員

市民に優先順位を問うべき。

第1に、執行部は自ら策定した計画すら把握していない。

第2に投資効率優先の著しい歪みがある。

第3に、世代間の倫理的な背信行為である。

阿久根の未来に責任を持つ議会として、本案を否決し、全ての公共施設計画を一度テーブルに乗せて、市民にその優先順位を問うべきである。

#### 【賛成】 木下 孝行議員

多くの市民が待ち望ん

でいた。

請負契約は、令和7年第3回市議会定例会で議決した債務負担行為に沿った契約締結であり、何ら問題ない。

また、議会に対して建設時期も説明し、新図書館の設計についても所管の委員会で見聞を聞いて

いる。令和7年11月13日には、議会に対し設計事業者が新設計図の説明を行い、議会の意見を聴取している。

執行部は、適正な手続を踏み、議会はその都度議決をしている。新図書館は多くの市民が待ち望んでいたものがあり、賛成する。

#### 【反対】 川畑 二美議員

市民への十分な説明と合意形成が不十分。

市民から、生活が大変という声も多い状況で、この規模の事業を進める

ことには慎重さが求められる。

図書館の移転や駐車場の問題について説明があったが、市民への十分な説明や意見聴取が行われたと言えない。

今回の工事請負契約は6億1820万円という大きな契約だが、入札は1者で、競争性確保の点も疑問が残る。

市民への説明と合意形成が不十分であり、財政面でも慎重さに欠く本契約に反対する。

#### 【反対】 白石 純一議員

必要だからこそ、手続はより慎重であるべき。

今回の計画の中身・立地・進め方に重大な疑問がある。

第1に、契約と予算の順序の問題である。

本契約は、新年度予算案の議決前に成立する可能性があり、仮に予算が減額または否決され、再

議も同様となれば、契約解除。受注者に瑕疵がなければ損害賠償を求められる可能性も想定され、そのリスクを拡大する判断は適切と言えない。

第2に、債務負担行為との関係である。

令和7年9月、債務負担行為が議決された時点では、実施設計は未完成であった。当時、実施設計完成後、本予算に向けて精査すべきとの意見が出ていたが、最終設計を十分に確認せず、債務負担行為が可決されているから契約も当然とするのは

当時の前提と整合しない。図書館は早く必要だという意見があるが、必要性と手続の妥当性は別問題であり、必要だからこそ、手続はより慎重であるべき。

### 組まれることを評価。

駐車場を利用しにくい現図書館の新たな建設を望む声も多く、令和8年度の着工、令和9年度中に完成、開館予定である。阿久根産木材をできる限り活用し、風テラスあぐねに隣接する場所に建設されることで、相乗効果により自然に人が集まる場所や空間になり、にぎわいが創出されると期待する。

着工が遅れるほど、建築資材の高騰、労務費の上昇による予算の増額が予測されることから、予定どおりの着工を望む。そのほか、諸分野で適切な予算組みがなされており、令和8年度は新図書館建設という大型事業を控える中、新規事業にも多く取り組まれることを評価する。

#### 【賛成】 山田 勝議員

市民の日々の生活を守るため絶対必要な予算。

あくね応援寄附金は、令和7年度に比べて2400万円の増額。関係市民の協力と職員の努力で、ふるさと納税制度が始まって14年、やっと努力が見えた結果である。それに比べ、歳出は消滅自治体からの脱却についての積極的な取組が見られないのは残念でたまらない。

#### 【反対】 竹原 信一議員

足元の安全確保にかじを切るべき。

原案・修正案ともに人口減少が加速する本市の現状を無視し、身の丈に

合わない規模に膨れ上がっている。公共施設管理計画を軽視し、施設を放置し、膨大な解体コストを押しつける行為は、次世代への裏切りである。

人口減少に伴う縮減計画にもかかわらず、それを無視した予算編成は、国の財政支援が打ち切られれば、即座に破綻する。新規建設プロジェクトを即時凍結し、足元の安全確保にかじを切るべき。

### ○令和8年度一般会計予算



動画

#### 【賛成】 竹之内和満議員

新規事業にも多く取り

しかしながら、本予算案は市民の日々の生活を

守るため、絶対必要な予算である。

る阿久根らしい図書館とすることを期待する。

とし、様々な世代の市民福祉の向上を目指し、各種の事業が予算化されている。

**賛成** 渡辺 久治議員

交流と滞在の拠点として発展する可能性。

**賛成** 川原 慎一議員  
市民のためになる予算が計上されている。

広域観光プロジェクトについて予算に計上された事業は、地域の未来を切り開く投資として評価する。

今回提案された一般会計予算案には、農作物高温対策支援、妊産婦交通費支援、屋内の遊べる場づくり、学校給食費助成、保育補助者雇上補助等の新規事業、妊娠、出産、育児の切れ目ない支援の拡充、継続事業の子どもの医療費給付、子どものための教育保育給付、武道館改修、市道の改良・維持・修繕、河川、砂防、港湾の事業等、多岐にわたる市民のためになる予算が計上されている。

新図書館には、市民の

新阿久根市立図書館建設については、令和7年第3回定例会において建設事業の債務負担行為と図書館建設用木材製材等業務の委託料を、慎重な審議、審査を経て可決している。

今期定例会に上程された、図書館建設の本体工事を行う特定建設工事共同企業体との契約締結についても、契約金額等を含めた様々な観点から審査を行い、可決されている。

議会は市民の皆様方がよかったと思っていただけけるよう、様々な観点から、建設的な議論を行い、前進していくことが大切である。

決して後ずさりしてはならない。

**賛成** 大野 雅子議員

市民に親しまれる阿久根らしい図書館に期待。

これからの図書館は、居場所としての役割が重要であり、市民ニーズを丁寧に反映していくことが市民の満足度向上につながる。

今後、市民に親しまれ

**賛成** 濱田 洋一議員

建設的な議論を行い、前進することが大切。

令和8年度一般会計予算案は、本市の将来を見据えた効果的な取組を柱

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

と

### 令和8年第1回臨時会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名 (議席番号順)													議決結果	
		大田 基次	川畑 二美	川原 慎一	大野 雅子	高崎 良二	渡辺 久治	竹之内和満	白石 純一	竹原 信一	仮屋園一徳	木下 孝行	山田 勝	濱田 洋一		牟田 学
報告第1号	専決処分の承認について (令和7年度阿久根市一般会計補正予算(第5号))	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	承認
議案第1号	令和7年度阿久根市一般会計補正予算(第6号)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 \*：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 /：欠席 -：表決権なし  
・牟田学議員は議長職のため、議案については、表決(賛成、反対の意思表示)権はありません。

### 令和8年第1回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名 (議席番号順)													議決結果	
		大田 基次	川畑 二美	川原 慎一	大野 雅子	高崎 良二	渡辺 久治	竹之内和満	白石 純一	竹原 信一	仮屋園一徳	木下 孝行	山田 勝	濱田 洋一		牟田 学
議案第2号	令和7年度阿久根市一般会計補正予算(第7号)	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	-	原案可決	
議案第3号	令和7年度阿久根市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第4号	令和7年度阿久根市交通災害共済特別会計補正予算(第1号)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第5号	令和7年度阿久根市介護保険特別会計補正予算(第4号)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第6号	令和7年度阿久根市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第7号	令和7年度阿久根市水道事業会計補正予算(第2号)	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決

令和8年第1回定例会 議案・審議・議決結果

議案等番号	内容	議員名（議席番号順）													議決結果	
		大田 基次	川畑 二美	川原 慎一	大野 雅子	高崎 良二	渡辺 久治	竹之内 和満	白石 純一	竹原 信一	仮屋園 一徳	木下 孝行	山田 勝	濱田 洋一		牟田 学
議案第8号	人権擁護委員の候補者の推薦について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	同意
議案第9号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	同意
議案第10号	阿久根市過疎地域持続的発展計画（令和8年度～令和12年度）について	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
議案第11号	辺地に係る総合整備計画について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第12号	市道路線の認定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第13号	市道路線の変更について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第14号	阿久根市立図書館新築工事（建築）請負契約の締結について	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
議案第15号	市有財産使用貸借契約の変更契約の締結について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第16号	阿久根市公告式条例の一部を改正する条例の制定について	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
議案第17号	阿久根市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
議案第18号	阿久根市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第19号	阿久根市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第20号	阿久根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第21号	阿久根市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第22号	阿久根市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第23号	阿久根市火入れに関する条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第24号	阿久根市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第25号	令和8年度阿久根市一般会計予算	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◆	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
	令和8年度阿久根市一般会計予算（修正案）	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◆	-	否決
議案第26号	令和8年度阿久根市国民健康保険特別会計予算	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
議案第27号	令和8年度阿久根市交通災害共済特別会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第28号	令和8年度阿久根市介護保険特別会計予算	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
議案第29号	令和8年度阿久根市後期高齢者医療特別会計予算	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
議案第30号	令和8年度阿久根市水道事業会計予算	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第31号	阿久根市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	原案可決
議案第32号	阿久根市子どもの遊び場の設置及び管理に関する条例の制定について	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◆	◇	◇	◇	◇	-	原案可決
令和7年陳情第11号	議員報酬増額の即時見直しと、長年続く閉鎖的・自己優先的議会運営の全面改善を求める陳情	◆	◇	◆	◆	◆	◆	◆	▲	◇	◆	◆	◆	◆	-	不採択
陳情第1号	阿久根市泉源を活用した温泉設備整備の早期実現に関する陳情	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	-	採択
決議第1号	竹原信一議員に対する辞職勧告決議	*	*	*	*	*	*	*	*	-	*	*	*	*	-	原案可決

【表の見方】 議：議案 請：請願 陳：陳情 意：意見書 \*：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 /：欠席 -：表決権なし

・牟田学議員は議長職のため、議案については、表決（賛成、反対の意思表示）権はありません。

・令和7年陳情第11号は、白石議員は一部採択に賛成し、採択に反対。

・決議第1号は、竹原議員は除斥のため、表決権はありません。

# 各議員が市政を問う

## 一般質問

令和8年第1回定例会では、8名の議員が一般質問を行いました。

- 1 渡辺 久治 議員「図書館の今後」
- 2 白石 純一 議員「阿久根駅前」
- 3 大田 基次 議員「阿久根大島」
- 4 大野 雅子 議員「新図書館」
- 5 高崎 良二 議員「就農者支援」
- 6 川畑 二美 議員「温泉施設支援」
- 7 竹原 信一 議員「横断の視点」
- 8 山田 勝 議員「ふるさと納税」

掲載内容については、それぞれの議員が行った一般質問の主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者がまとめ、広報広聴委員会が編集したものです。

### 一般質問動画の視聴はこちら

議員写真の左下にある二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、各議員の一般質問をYouTubeで視聴できます。視聴の際はデータ通信料が発生する場合がありますので御了承ください。

### 郷土資料館としての活用は

まずは耐震診断を実施する

渡辺 久治 議員

### 図書館の今後

**渡辺** 図書館3階の歴史フロアは、市内外から高い評価を受けている。現図書館を郷土資料館として活用できないか。

**教育長** 現図書館は、建築から60年以上経過し、老朽化が著しい。まずは耐震診断を実施し、活用方法を検討する。

**渡辺** 新図書館の基礎工事の段階で、現図書館の



「耐震診断」を待つ現在の図書館

耐震診断を実施し、郷土資料館としての活用の可能性を早期に明確にして貰いたい。どうか。

**生涯学習課長** 耐震診断は費用が掛かるので、関係課と協議したい。

**渡辺** 費用は、どれくらいかかるのか。

**生涯学習課長** 既に見積書を徴しているが、入札もある。具体的な金額は控えない。

### 本市の水道事業について

**渡辺** 旧簡易水道区域を中心に、基準土盛りを満たさない配水管が存在する現状が示された。試掘調査を行い、水道路線図

を作成し、計画的な更新に活用しては如何か。  
**水道課長** 有効な手法の一つである。管路情報の精度向上を図りながら、持続可能な水道事業運営に取り組む。

### 【その他の質問】

- ・パートナシップ制度
- ・脇本海岸の紫電改
- ・空き家バンクについて
- ・学校の在り方について
- ・「#よかとこ阿久根」について

### 質問者のコメント

「郷土歴史資料館」、今後の方向性を明確に。



動画視聴



## バス・送迎乗降危険対策を

関係者等と至急協議する

白石 純一 議員



空港・路線バス、送迎車、乗降客が交錯し、危険な状況も見られる阿久根駅ロータリー

**白石** 駅ロータリーは、バスや送迎車、乗降者が交錯し危険。安全対策をすぐに実施できるか。

## 阿久根駅前

**企画推進課長** 地域公共交通活性化協議会で、関係者等と至急協議する。



動画視聴

**学校統廃合** 学校廃止に必要な法令上の手続きは。  
**教育長** 学校設置条例改正を市議会で議決し、県教育委員会に届け出る。  
**白石** 保護者・地域の説明会で、鶴川内中の廃校は決定したと回答された。

この段階の断言は市民に誤解を与える可能性がある。適切だったか。  
**教育長** 方針が抜けたことは認めるが、方針の決定として周知しており、理解いただけたと思う。

**地域マイクログリッド事業**

**白石** 市は太陽光発電の組合に1億6百万円、53%の最大出資者だが、経営に一切関与できない。事業の最終責任者は。  
**企画推進課長** トラストバンク阿久根である。

**新図書館**  
**白石** 新図書館の設計図を市民に開示し、意見を伺うプロセスは経ないのか。

**市長** 工事契約に入っており、設計に市民の意見を反映するのは難しい。

### 質問者のひとこと

図書館計画の根拠は13年前のアンケート。現在、将来のニーズを把握すべき。

## 阿久根大島航路の継続

事業継続についての支援策

大田 基次 議員



阿久根大島

**大田** 渡船継続に向け、共同フェリーにどのような支援策や条件を示したのか。またそれに対しての返答はいかようなものか。

## 阿久根大島

であったか。

**市長** 渡船事業に直接必要な費用に対する補助制度を新たに創設する。渡船事業者からは一定の支援措置が講じられるのであれば、令和8年度の事業継続は可能である旨の回答があった。



動画視聴

**未処分の市有地について**  
**大田** 潟区内の未処分の市有地について、新価格はいつごろ決定するのか。

**市長** 今回新たな価格を決定したところであり、市ホームページへの掲載に向けて準備を進めている。

**大田** 販売を促進する方法は検討しないのか。  
**市長** 未処分の市有地の売却と移住定住を促進するため、中学生以下の子供が同居する子育て世帯の方が潟区内の未処分市有地を購入する場合に取得費用の一部を補助する制度を本年度から開始した。

### 鳥獣被害防止対策

**大田** 捕獲鳥獣の処分について、焼却施設や減容化施設の整備を進める考えはないか。

**市長** 整備に当たっては、周辺環境への配慮、立地場所の選定、整備費用の確保、継続的な維持管理費など、さまざまな課題があり、現時点で具体的な整備計画はない。

### 【その他の質問】

・空き家対策について

## 飲食可能な居場所機能は

### 交流センター内で補完

大野 雅子 議員



見学したトレーラーハウスの資料

## 新図書館

**大野** 図書館本体とは別に、飲食を伴う居場所機能・災害時の飲食提供機能を有するトレーラーハウス等の設置は検討できないか。

**教育長** 必要性、費用対効果も含め研究する。

**大野** 防災機能を明確に位置づけた上で検討することはできないか。日常的な使用

**総務課長**

日常的な使用



動画視聴



法、維持管理に課題があり、今のところ考えていない。

**大野** 令和7年国のモデルリング事業で、平時に活用、有事にも活用可能なフェーズフリーの考えが注目。国の緊急防災・減災債の利用が延長となった。充当率はいくらか。

**財政課長補佐** 充当率100%交付税措置率70%。

**大野** 見に行ったが価格も1000万円ぐらいで自由設計もできる。防災について更新されている研究してもらえないか。

**市長** 新図書館も地元の方々のキッチンカーを活用する方が効果的ではないか。災害時は地元の

キッチンカーをお持ちの方と災害協定を結んでおき、協力をもらうのも一つの手である。有利な市債だと考えるが、日常使用ということとは、現実的ではないと思う。

### 【その他の質問】

- ・地域農業の維持、遊休農地の活用について
- ・子育て支援事業について他

### 質問者のひとこと

トレーラーハウスは小さな家。図書館横に置くことで、お食事やコーヒーを飲みながら市民がゆっくり過ごせる場所に。

## 振興センターの活用は

### トレーニングセミナーを計画

高崎 良二 議員



農林業振興センター  
就農トレーニングセミナー、始まる

## 就農者支援

**高崎** 新規就農者に対して、どのような支援を行っているか。

**市長** 資金面の支援として、営農資金、農業機械等の導入や生産資材等の購入を支援する事業があり、栽培技術や知識の習得、経営改善等の支援として、サポートチームによる巡回指導による栽培技術の指導や経営相談、

必要に応じて個別の経営改善のための対策会議等を開催している。

**高崎** 農林業振興センターを活用した支援ができないか。

**市長** 新規就農者を対象に、農林業振興センター所有の農業機械の無償貸出しを開始したほか、来年度から就農トレーニングセミナー事業の実施を計画している。

**高崎** 会社に勤務しながら農業に興味のある方も受け入れるのか。

**農政林務課長** 兼業農家の方でも受入れ可能としている。

**高崎** スマート農業機械導入の支援はどのように

### なっているか。

**農政林務課長** スマート農業機械は、2分の1以内の補助で50万円を上限としている。

### 観光振興について

**高崎** 体験型観光は令和2年度から行っているが、どのような経済波及効果があったのか。

**商工観光課長** 令和6年は、参加者数約6千人、売上額約1250万円である。

### 質問者のひとこと

農林業センター活用による農業振興に期待する。

## 老朽化施設に支援対策

内容に応じて検討

川畑 二美 議員



動画視聴



### 温泉施設支援

**川畑** 老朽化が進む温泉施設・設備の改修・更新に対し補助制度は考えられないか。

**商工観光課長** 課としては把握できていない状況である。

**川畑** 廃業リスクについて危機感があるか。

**市長** 現時点において事業者から要望は特段いだいておらず、具体的な要望があった段階で、その内容に応じて検討したい。

**川畑** 市内温泉施設の老朽化状態を把握しているか。

**商工観光課長** 現温泉事業者の後継者、担い手等の確保について把握できていないため、そのリスクというのは把握できていない。

**川畑** 国や県の補助制度活用を含め、調査や研究を始める考えはないか。

**商工観光課長** まずは事業者の施設・設備の改修等の希望があるかを把握した上で、必要に応じて補助制度の活用等を検討したい。

### 【その他の質問】

- ・交通不便地域対策について
- ・佐潟鼻周辺の観光資源活用について
- ・大川地区の原発災害時避難道路の再検討について
- ・新図書館の設計・建設における説明責任について

### 質問者のひとこと

塩温泉は、観光誘致にも、市民の健康にもつながる大事な宝の資源です。



阿久根市「宝の温泉」は大事であり地域活性化にも繋がる

## 計画共有はあるか

庁内浸透が課題である

竹原 信一 議員



動画視聴



### 横断の視点

**竹原** 公共施設等総合管理計画や公園施設等長寿

命化計画が庁内にも市民にも十分共有されていないのではないか。

**副市長** 全体予算の中で優先度を考慮し必要な部分から整備を進めている。庁内周知が十分でなかった点は認識しており令和8年度更新で図る。

**竹原** 財政課には公園施設等長寿命化計画の資料

がなく、総括的に調整する部署として機能していないのではないかと。財政課まで浸透していなかった事実は認識している。

総合管理計画の更新については職員の周知を図り、作成を進める。

### 学校統廃合と移住定住

**竹原** 学校統廃合の検討に当たり、居住定住政策への影響を分析したことはあるか。

**教育長** 教育の平等性を保障できる学校規模の維持を目的としている。一方、移住定住政策への影響についての分析は行っていない。

### 質問者のひとこと

施設管理計画は膨大だが、庁内でさえ共有されず年度予算にも反映されていない。積み残しが膨らむ中で新たな建設が続く。統合的な視点なくして人口減少時代の将来設計はできない。



図書館や三笠支所は、いつ解体や改修が行われるのか

## 子育て支援に予算を厚く

ここだけに使うのは難しい

山田 勝 議員

### ふるさと納税

**山田** 大分県豊後高田市は子育て支援に手厚い政策を行い、5年ほどで消滅自治体から脱却したと聞く。本市も拡充する考えはないか。

**市長** 令和8年度には、子ども医療費給付事業、子どもの遊び場づくり事業、不妊治療費助成事業にふるさと納税を活用するなど妊娠、出産、育児



動画視聴



ふるさと納税の「お礼品」

までの切れ目のない子育て支援に重点的に取り組んでいる。

**山田** 本市の予算は、ふるさと納税を総花的に使っているように見える。予算にメリハリをつけて子育て世代が多数帰ってくる配慮をしたことがあるか。

**市長** 様々な子育て支援策を行っているが、様々な分野で頑張っている方々を引き上げ、地域を引っ張っていただけるよう、必要な方々に行き渡るよう財政措置している。

### 市長の政治姿勢

**山田** 寺島宗則記念館に保管してある仏壇や法事目的で使用する覚書は、担当課長のみが記名押印しているが、市が取り交わすものとして適切か。  
**市長** 書類の作成上不備があった。

### 質問者のひとこと

議員は市民の代弁者。自分では言えない市民に代わって発言するのが議員の務めだと思おう。

## 若者団体と議員と語る会を開催しました

令和8年1月28日、風テラスあくねにおいて「若者団体と議員と語る会」を開催しました。

市内で活動されている青年世代の団体の皆様に、これからの阿久根について意見をいただいたほか、団体での困りごとを伺いました。

いただいた御意見は、政策提言に生かしてまいります。ありがとうございます。



# 議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か



市議会は、市の予算や施策について話し合い、決定する大切な場所です。グループ活動や学習の機会にぜひ傍聴にお越しください。

来られない方は、市ホームページ内、市議会ページの議会中継、中継録画をご利用ください。

一般傍聴席は4階です。

3階には、車椅子傍聴席もご用意しております。

## 令和8年第2回定例会の予定

令和8年第2回定例会の会期日程(案)をお知らせします。日程は諸事情により変更される場合がありますので、市ホームページ、防災行政無線の放送などをご確認をお願いします。

月	日	曜日	会議の内容
6	15	月	本会議(提案説明、質疑)
	18	木	本会議(一般質問)
	19	金	本会議(一般質問)
	22	月	委員会(条例・補正予算等の審査)
	23	火	委員会(条例・補正予算等の審査)
7	1	水	本会議(委員会審査報告、表決)

市議会

インターネット

**ライブ中継**

はこちらから



過去の市議会

**中継録画**

はこちらから



**本会議の記録**

(会議録・平成13年度以降)

**委員会記録の閲覧**

はこちらから



委員から一言

3月議会は、令和8年度の予算を審議・可決しました。議会では、総務文教委員会、産業厚生委員会、議会運営委員会、特別委員会等の各委員会があり、傍聴もできます。また、広報広聴委員会では、議会だよりの作成、各市民・団体の方々の皆様の御意見を聞くことが大事であるとの考えのもと「議員と語る会」も開催しています。

市民の皆様が住みやすいまちづくりのため、皆様の声をお聞きし、市政発展・活性化に繋げていきたいと思っています。

(委員 川畑 一美)

発行責任者

議長 牟田 学

広報広聴委員会

委員長 大野 雅子

副委員長 竹之内和満

委員 川畑 二美

委員 川原 慎一

委員 渡辺 久治

委員 竹原 信一